

輸送の安全のために講じた措置

2022年度	項目	実績（円）
車両	NO1111 後付け安全システム装着	225,500
	駐車場 センサーライト カラーコーン（車庫内事故防止用）	1,130
	NO131 蛍光ランプ	5,900
	車載用 無線機	20,000
	携帯用アルコールチェッカー アルコールチェッカーメンテナンス	102,840
乗務員	適性診断	-
	安全講習会（外部講習参加）	8,000
	実施研修会	5,317
	安全運転中央研修	122,600
	教育システム通信費	142,560
運行管理	デジタルタコグラフ通信費	422,928
	運行管理講習	3,200
	安全リスクマネジメント講習	—
	運行管理システム料	390,000
健康管理	睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査	—
	脳MRI検査 頸動脈超音波検査	123,500
	健康診断	149,209
感染症予防対策	車内消毒	8,000
		1,730,684

車両火災を想定した緊急時避難訓練を実施し、乗客の避難誘導・非常口及び消火器の取り扱いと初期消火作業を行いました。

適正診断[適齢・一般]を行い、その診断結果をもとに教育指導を行いました。

脳MRI検査 頸動脈超音波検査、検査を実施しました

自動車安全運転センター 中央研修所 2日コース 2名受講

安全マネジメントセミナーを受講しました

運転士の事故防止のための実施運転研修を定期的に全社員を対象に行いました

輸送の安全のために講じ講じようとする措置

2023年度	項目	予算（円）
車両	新デジタルタコグラフ	2,600,000
	アルコールチェッカーメンテナンス	54,000
乗務員	適性診断	—
	安全講習会	20,000
	実施研修会	20,000
	安全運転中央研修	140,000
	教育システム通信費	142,560
運行管理	デジタルタコグラフ通信費	450,000
	運行管理システム料	850,000
	外部セミナー受講	100,000
健康管理	睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査	30,000
	脳MRI検査 頸動脈超音波検査	200,000
	健康診断	130,000
感染症予防対策	車内消毒	30,000
合計		4,766,560

健康管理について

- ・ 定期的な健康診断・脳MRI健診の実施と健康状態の把握・管理・指導を行う。
- ・ 睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査を実施します

運転者の研修について

- ・ 定期的な適性診断の受診と診断結果に基づく教育・指導を行う。
- ・ 緊急時避難訓練を実施し、緊急時の対応力の強化を行う

外部機関での実技研修について

運転士

- ・ 自動車安全運転センター 中央研修所での運転技術の習得と安全運転教育者の育成

運行管理者

- ・ 輸送安全マネジメントセミナー受講

社内規定の遵守と厳正な点呼の実施

- ・ 内部監査における指導項目ゼロ達成。
- ・ 疲労・疾病・睡眠状況の確認とアルコール検出者ゼロ達成